

平成28年度 社団法人
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

各研究班精度管理調査結果報告

輸血検査

八木 良仁（県立多治見病院）



参加状況

参加施設数 34 施設 (35)

血液型検査 34 施設 (35)

不規則性抗体スクリーニング 25 施設 (26)

不規則性抗体同定 16 施設 (15)

試験管法による凝集価 30 施設 (30)

()は昨年度

<配布試料>

試料No51・52

愛知赤十字血液センターの協力により、検査で不適となった献血者由来の血液を使用

試料No53-1

抗D血清非添加アルブミン添加生理食塩水

試料No53-2

試料No53-3を試料No53-1で正確に16倍希釈したもの(4管差)

試料No53-3

抗D血清をアルブミン添加生理食塩水で×50に希釈したもの

<試料内容の検証>

血液型

試験管法 カラム凝集法にて判定し確認した。

不規則性抗体検査

試験管法

生理食塩水法・ブロミン法・アルブミン-クームス法・PEGクームス法

カラム凝集法

フィン法・LISSクームス法

で判定し確認した

評価基準<血液型>

以下の判定を評価Aとした

(おもて試験・うら試験の凝集価については評価対象外)

試料No.51

ABO: A型 RhD: 陽性

試料No.52

ABO: O型 RhD: 陽性

※ABO血液型で『判定保留』は評価B, それ以外の回答は評価Dとした.

評価基準<不規則性抗体>

各法(生理食塩水法・酵素法・間接抗グロブリン法)の判定結果は評価対象外とし以下の判定を評価Aとした

試料No.51

スクリーニング： 陽性，抗体同定： 抗Fyb

試料No.52

スクリーニング： 陽性，抗体同定： 抗M

それ以外は評価D. ただし，コメントに詳細を記載されて『抗体ナシ』と回答された施設は『評価外』とした.

評価基準<凝集価>

No53-1

『陰性』を評価A それ以外を評価D

No53-2

『1+』『2+』を評価A 『w+』『3+』『4+』を評価B
それ以外を評価D

No53-3

『3+』『4+』を評価A 『2+』を評価B
それ以外を評価D

評価基準<抗体価>

No53-1

『未実施』を評価A それ以外を評価D

No53-2

『1倍』『2倍』『4倍』『8倍』を評価A

『16倍』『32倍』を評価B それ以外を評価D

No53-3

『8倍』『16倍』『32倍』『64倍』を評価A

『4倍』『128倍』を評価B それ以外を評価D

正解率

試料No.51

血液型検査

ABO 100%

RhD 100%

不規則性抗体検査

スクリーニング^g 100%

抗体同定 100%

試料No.52

血液型検査

ABO 97.1%(評価B 2.7%)

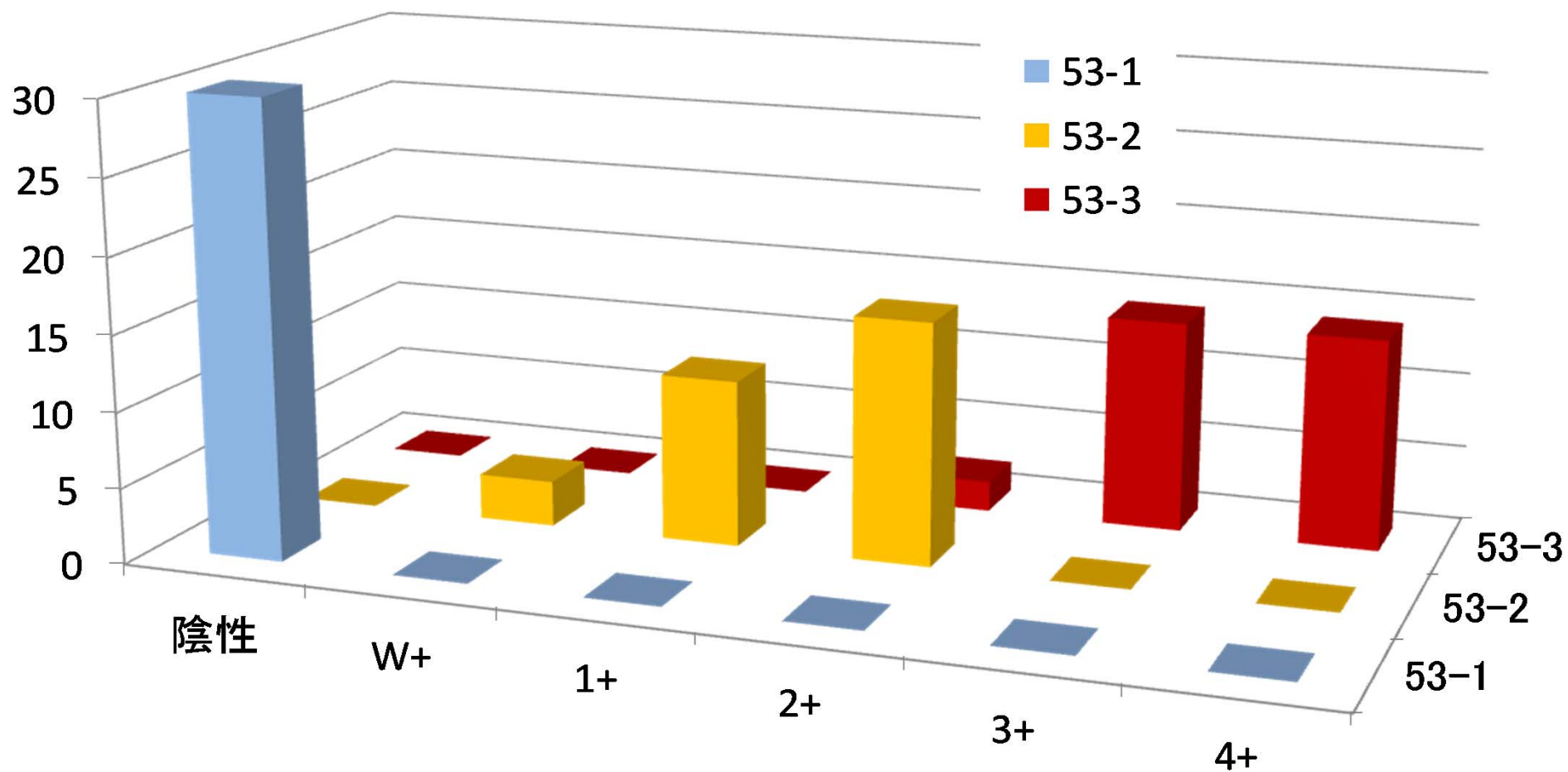
RhD 100%

不規則性抗体検査

スクリーニング^g 100%

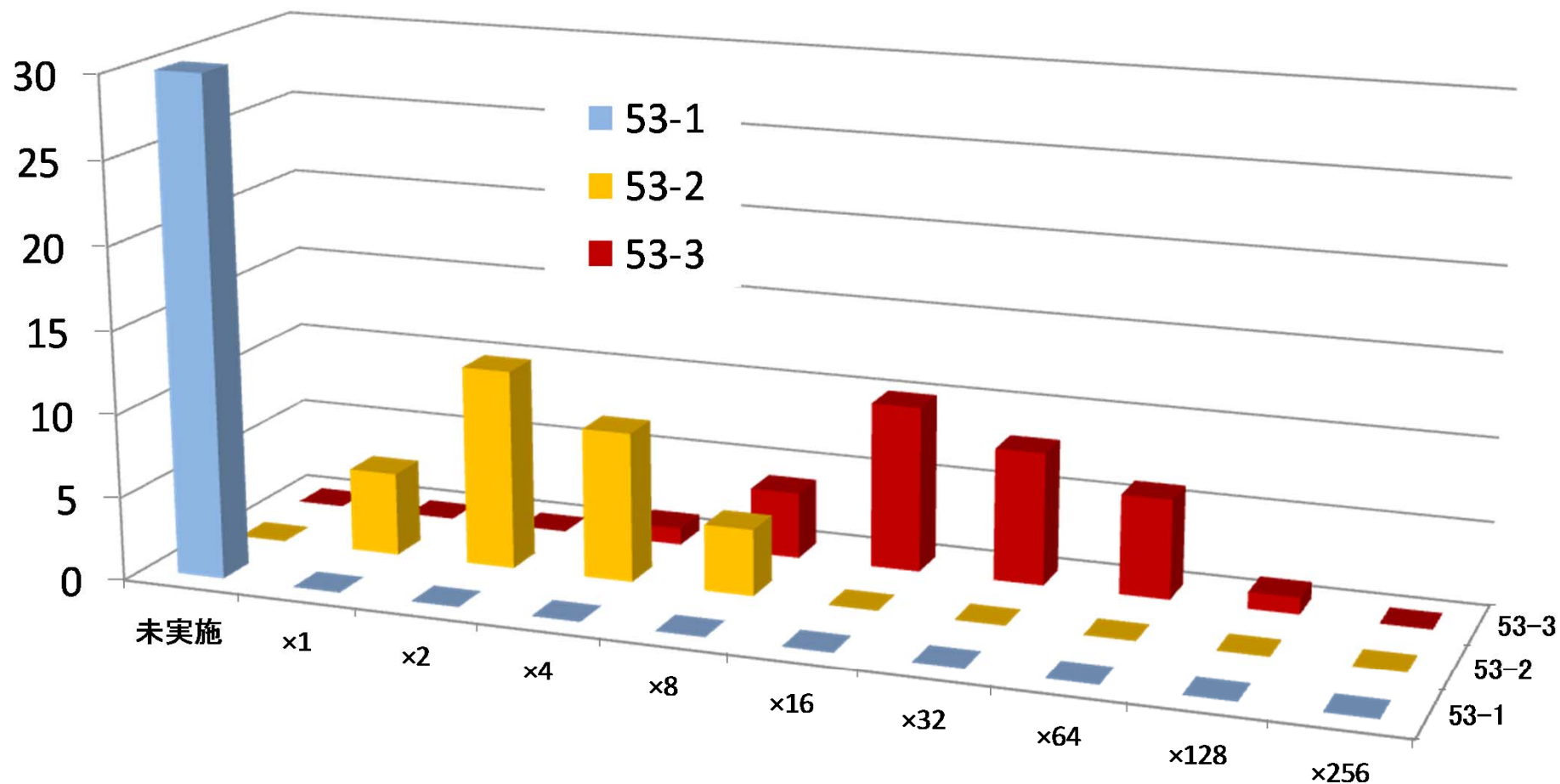
抗体同定 93.8%

試験管法による凝集価の判定



部門別 精度管理調査結果報告(輸血検査)

試験管法による抗体価の判定



正解率<凝集価>

試料No.53-1

評価A 100%

試料No.53-2

評価A 90%

評価B 10%

試料No.53-3

評価A 93.3%

評価B 6.7%

正解率<抗体価>

試料No.53-1

評価A 100%

試料No.53-2

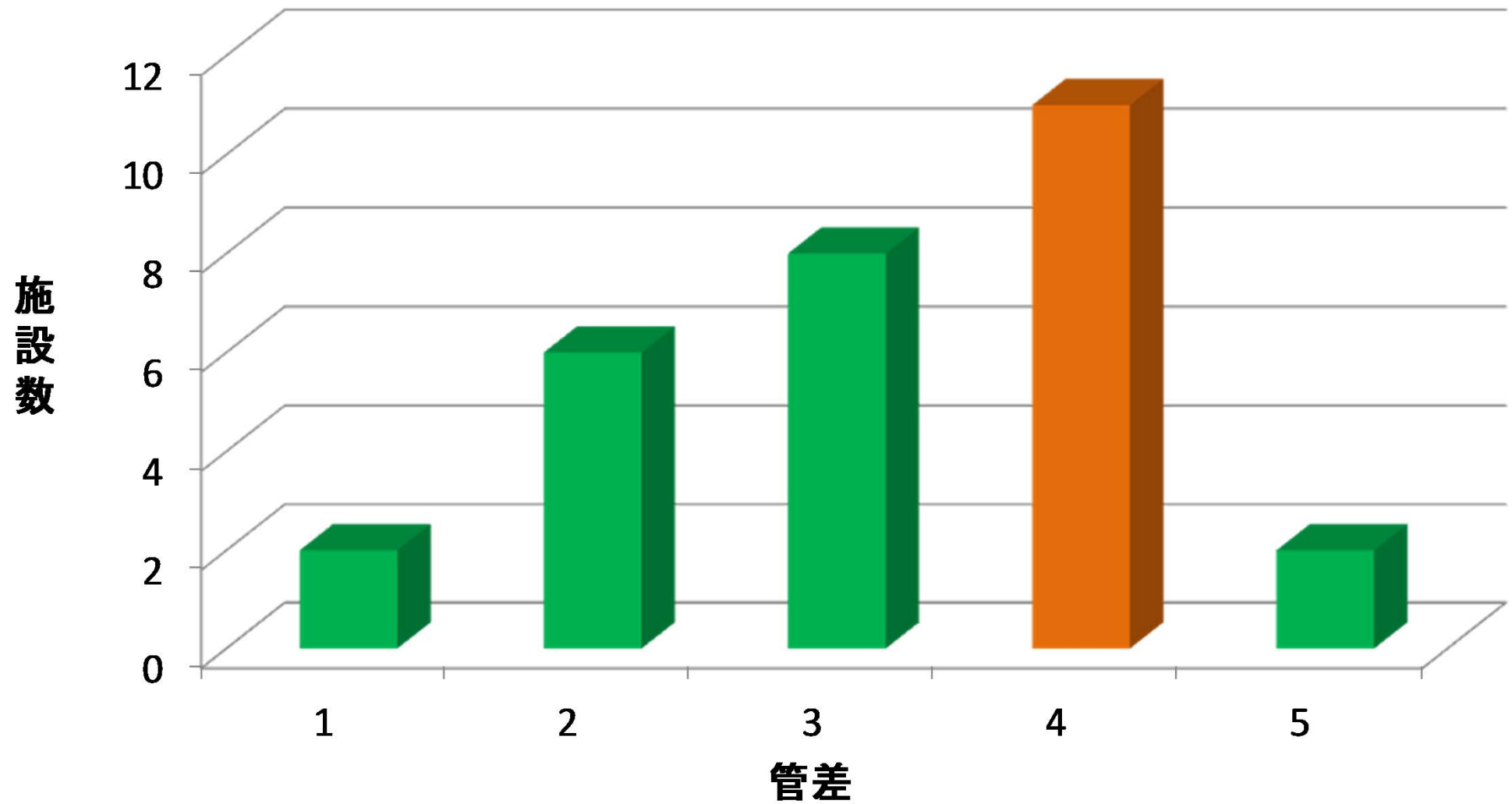
評価A 100%

試料No.53-3

評価A 93.3%

評価B 6.7%

№53-2と№53-3との管差



<ABO血液型うら試験結果>

- ABO血液型うら試験において、O型血球との判定を実施している施設は 4施設であった。
- 試料51のうら試験における、B血球との凝集価の状況は下表のとおりであった

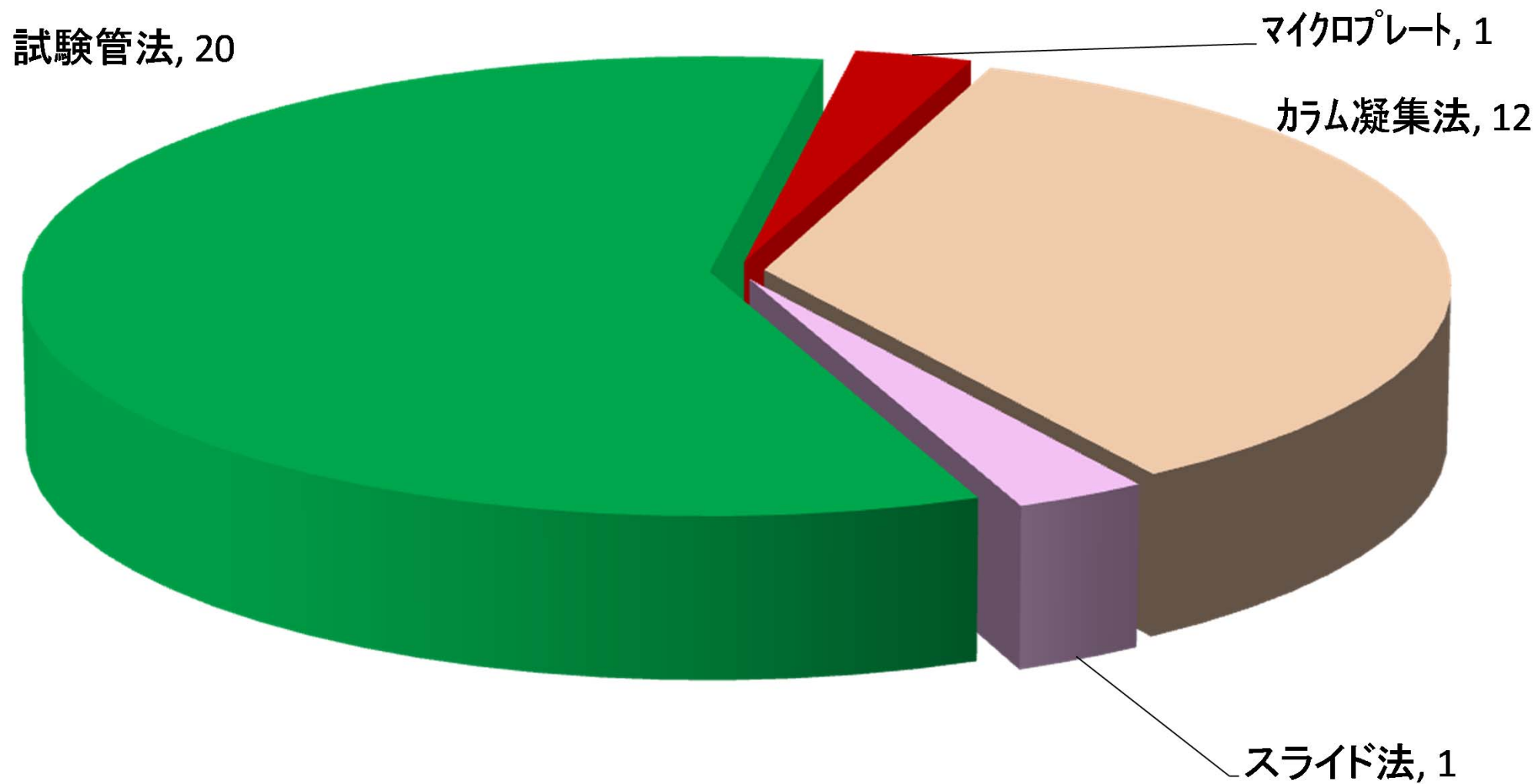
	カラム凝集法	マイクロプレート法	試験管法
2+	1		2
3+	9		7
4+	2	1	12

部門別 精度管理調査結果報告(輸血検査)

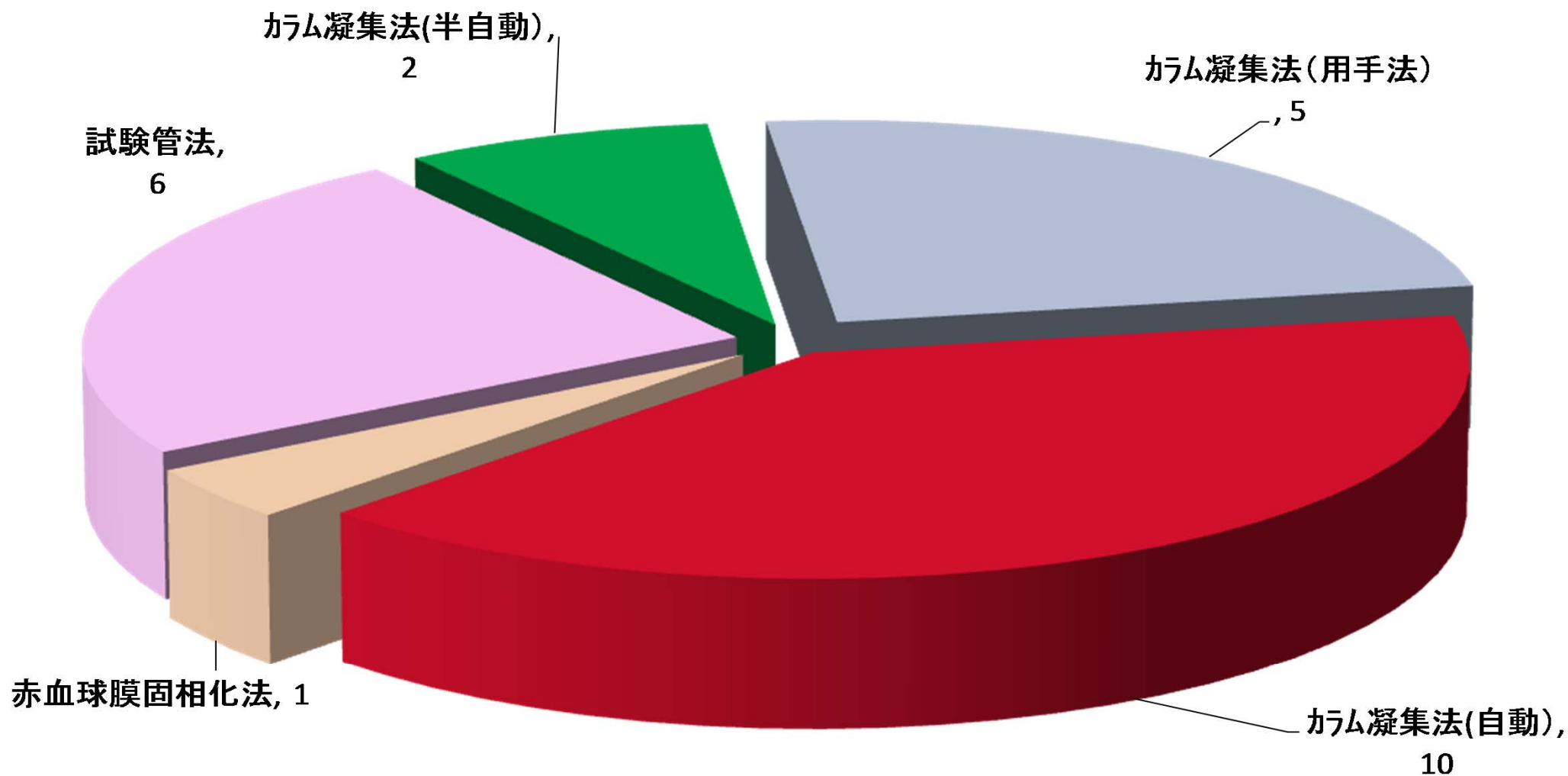
不規則性抗体スクリーニング検査法

方法	生理食塩水法	酵素法	間接抗グロブリン法	施設数
実施の有無	実施	実施	実施	4
	実施	未実施	実施	1
	未実施	実施	実施	10
	未実施	未実施	実施	10
実施施設数	5	14	25	25

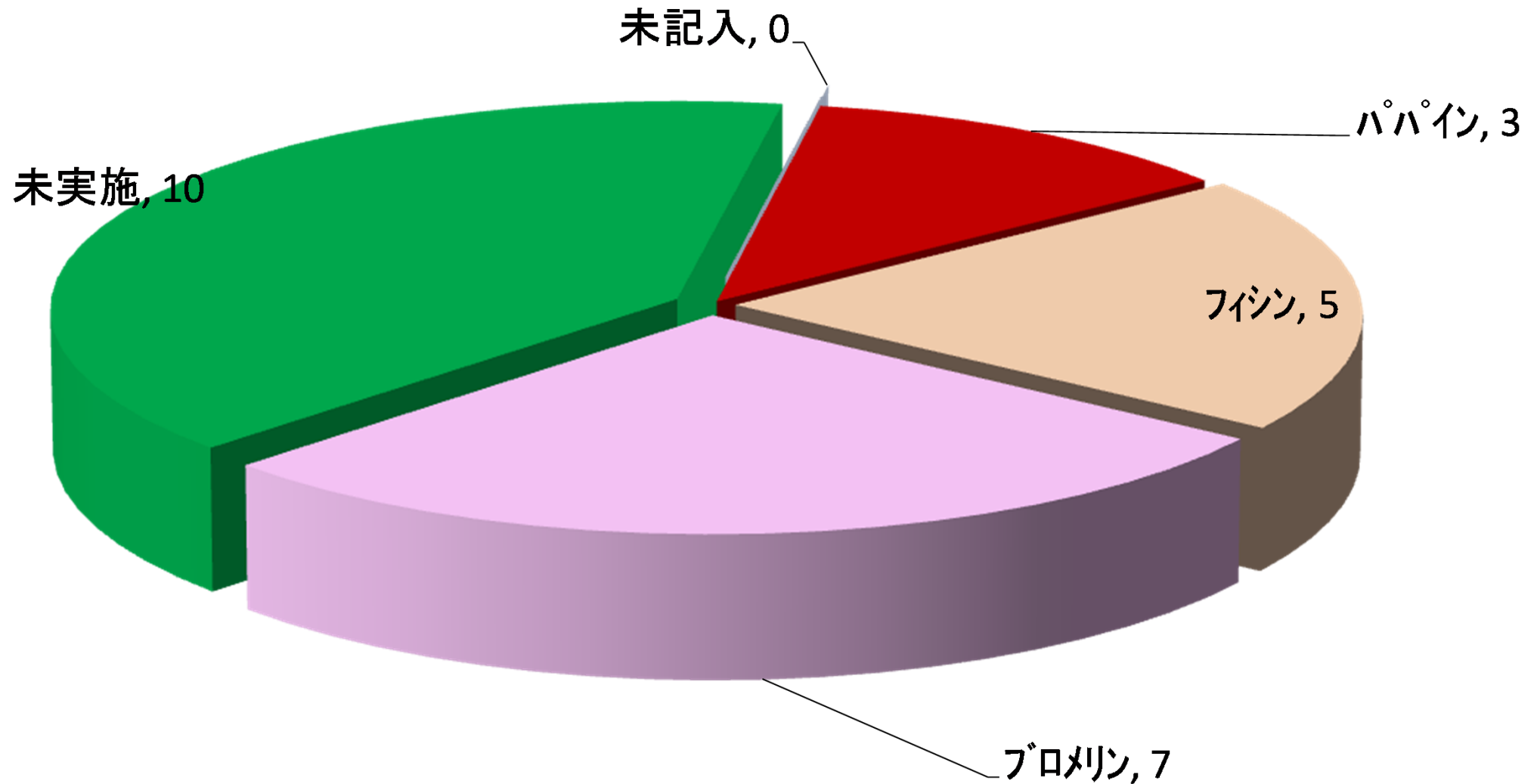
血液型検査法



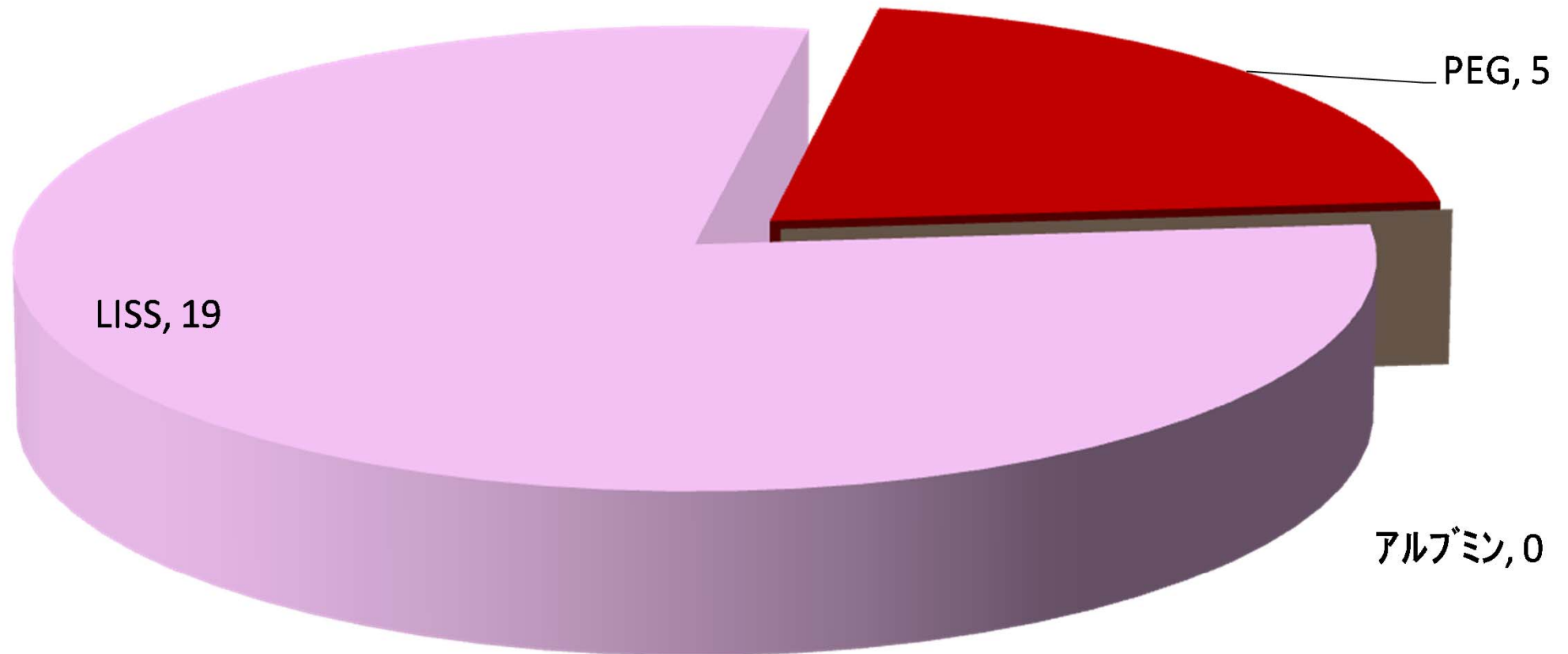
不規則性抗体検査法



不規則性抗体検査酵素法試薬



不規則性抗体検査反応増強剤



まとめ

- ABO血液型RhD血液型では、良好な結果であった。
- 不規則性抗体検査では、試料№51では良好な結果。しかし試料№52においてABOウラ試験でO型血球を用いたためと思われる回答が見られた。不規則性抗体の影響など総合的な判断が望まれる
- 今年度も一次報告からの修正回答を数施設で実施（正直疑問・・・）
- 評価外の判定結果と矛盾する評価対象結果が散見された。
- 反応増強剤としてアルブミンから PEG・LISSへ移行された。
- サーベイに適した試料の確保が課題
- 輸血検査を実施している県下全施設が、積極的に参加されることが望まれる

精度管理調査報告

平成29年3月11日

岐阜市民病院 にて

輸血細胞治療部門研修会時

開催予定です